

令和6年度（春期）放射線安全管理研修会受講申込要綱

日時 令和7年2月27日(木) 9時55分～16時30分

開催形式 オンライン型（講演会場は設置しません。）

- 終了後20日間オンデマンド配信

ポイントの付与：当研修会是一般社団法人日本核医学専門技師認定機構からポイント付与研究会として認定されています。次の学会に所属する受講者にはポイントが付与されます。

- 日本診療放射線技師会会員の学術研修カウント：5点
 - 日本核医学会学術集会認定ポイント：3点
 - 日本核医学技術学会核医学専門技術者ポイント：5点
 - 日本核医学専門技師認定機構ポイント：5点
- * 対象者は、申込時に学会名の後に会員番号を記入し、研修会終了後に所属学会に付与申請をしてください。
- * 日本診療放射線技師会学術研修カウントは当協議会事務局がカウント付与申請をいたします。
- * 放射線業務従事者の再教育プログラムにもご利用ください。

申込方法：専用申込サイトを設置しています。詳細はサイトをご覧ください。

- 専用サイト：<https://www.compass-tokyo.jp/houchukyo/>
- 受付開始：令和6年12月20日（月）正午より
- 受講料：会員*8,000円、一般10,000円
 - * 会員価格は、次の協賛団体の会員が対象となります。
協賛団体：（公社）日本診療放射線技師会、全国国立大学放射線技師会、特定非営利活動法人日本核医学技術学会、（一社）日本核医学会核医学看護分科会、大学等放射線施設協議会、（公社）日本アイソトープ協会、（一社）日本画像医療システム工業会、（一社）日本非破壊検査工業会、（一財）電子科学研究所、日本放射性医薬品協会
- 支払方法：コンビニ決済、ATM決済、カード決済
- 申込〆切：令和7年2月22日（土） コンビニ決済、ATM決済
令和7年2月24日（月） カード決済
- 受講者には講演テキストを配信いたします。
- 受講申込者には前回の研修会（令和6年9月27日開催）の動画を配信します。

問合せ：株式会社コンパス（申込業務委託先）

電話：03-5840-6131・FAX：03-5840-6130

E-mail：houchukyo-support@compass-tokyo.jp

令和6年度(春期)放射線安全管理研修会プログラム

－放射線事故の教訓から放射線安全管理を考える－

主催 放射線障害防止中央協議会

共催 (公財)原子力安全技術センター

協賛 (公社)日本診療放射線技師会、全国国立大学放射線技師会、特定非営利活動法人日本核医学技術学会、(一社)日本核医学会核医学看護分科会、大学等放射線施設協議会、(公社)日本アイソトープ協会、(一社)日本画像医療システム工業会、(一社)日本非破壊検査工業会、(一財)電子科学研究所、日本放射性医薬品協会

日時 令和7年2月27日(木) 9:55～16:30

形式 オンライン型 終了後20日間オンデマンド配信

開会挨拶 放射線障害防止中央協議会会長 上 蓑 義朋

9:55～10:00

講演1 「X線被ばく事故－行政の立場から－」

10:00～11:00

講師 厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課電離放射線労働者健康対策室
中央放射線管理専門官 平地康一氏

(休憩 10分)

講演2 「X線被ばく事故－保物学会検討WGの報告から－」

11:10～12:10

講師 東京大学

環境安全本部 教授 飯本武志氏

(昼食休憩 60分)

講演3 「医療機関における放射線事故と教訓」

13:10～14:10

講師 国立保健医療科学院

主任研究官 山口一郎氏

(休憩 10分)

講演4 「大学・研究機関における事故・トラブルとその対策」

14:20～15:20

講師 横浜薬科大学

放射線科学研究室 教授 加藤真介氏

(休憩 10分)

講演5 (特別講演)

「福島原発事故の概要と現状」

15:30～16:30

講師 日本原子力研究開発機構 福島廃炉安全工学研究所

大熊分析・研究センター センター長 大岡誠氏

放射線安全管理研修会是一般社団法人日本核医学専門技師認定機構からポイント付与研究会として認定されています。